

2027年3月期中間期の業績説明及び 2027年3月期通期の業績予想



2026年10月22日



石塚硝子株式会社

ISHIZUKA GLASS Co., Ltd.

1. 2027年3月期中間期の業績説明

- 連結業績ハイライト
- セグメント別売上高、セグメント別営業利益
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フロー

2. 2027年3月期通期の業績予想

- 通期業績予想
- 通期業績予想の進捗
- 連結業績推移

3. トピックス

- 地域ブランド認定制度「なごみやげ」にアデリアレトロ製品が認定
- 岩倉市ジュニアアスリートを応援しています

連結業績ハイライト

- ✓ 売上高は、プラスチック容器関連事業が長引く天候不順などにより減収となるが、ハウスウェア関連事業の増収などにより、前年同期並み。
- ✓ 利益については、企業活動における様々なコスト上昇の影響により、営業利益及び経常利益は減益。なお、固定資産（遊休地）の売却による特別利益の計上もあり、中間純利益（※）は増益。
- ✓ 通期業績予想策定時に比べ外部環境は悪化していますが、業績予想は据え置き、当初予想の達成に向けた取り組みを進める（P.10）。

（単位：百万円）

項目	2025/3月期 中間期実績	2026/3月期 中間期実績	2027/3月期 中間期実績	前年同期比		一昨年同期比	
				増減	増減率	増減	増減率
売上高	28,823	30,769	30,796	26	0.1%	1,972	6.8%
営業利益	2,505	2,909	2,446	△463	△15.9%	△58	△2.3%
経常利益	2,768	2,633	2,506	△127	△4.8%	△261	△9.4%
中間純利益 ※	1,944	1,792	1,897	104	5.8%	△47	△2.4%

※ 親会社株主に帰属する中間純利益

セグメント別売上高

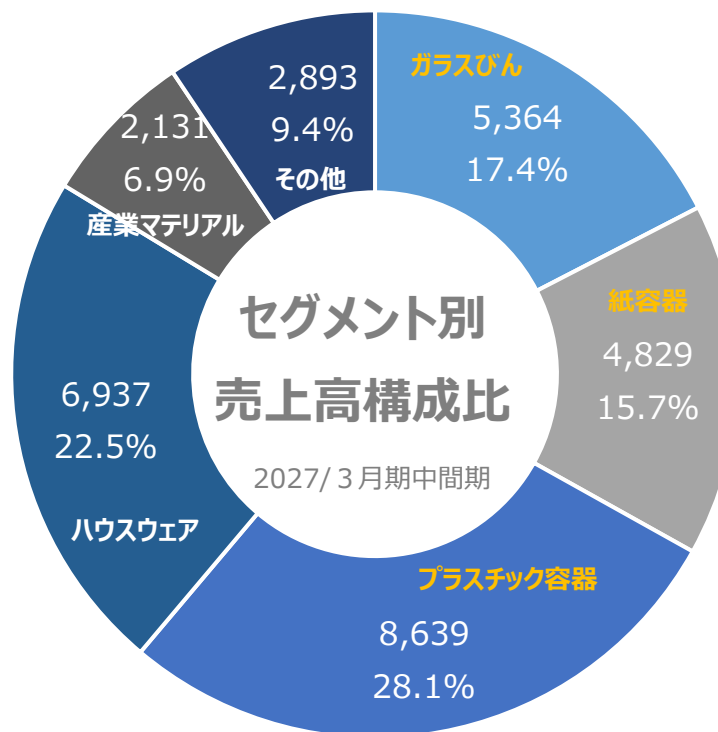
30,769		30,796
2,626	+267	2,893 その他
2,256	△124	2,131 産業マテリアル
6,581	+355	6,937 ハウスウェア
9,128	△489	8,639 プラスチック容器
4,734	+95	4,829 紙容器
5,442	△78	5,364 ガラスびん

(単位：百万円)

包装容器計
18,833
(△471)

2026/3月期中間期

2027/3月期中間期



(単位：百万円)

包装容器計
18,833
(61.2%)

セグメント別売上高

包装容器関連事業

■ ガラスびん関連事業 売上高5,364百万円（前年同期比△1.4%）

- ✓ 物価高による買い控えなどの影響により出荷量が減少し減収。



■ 紙容器関連事業 売上高4,829百万円（前年同期比+2.0%）

- ✓ 出荷量が堅調に推移したことに加え、販売価格改定の実施により増収。



■ プラスチック容器関連事業 売上高8,639百万円（前年同期比△5.4%）

- ✓ P E Tボトル用プリフォームは、長引く天候不順の影響で受注が減少したことに加え、費用の変化に伴う販売単価の見直しの影響により減収。



セグメント別売上高

ハウスウェア関連事業

売上高6,937百万円（前年同期比+5.4%）

- ✓ ガラス食器は、企業向けの景品案件の獲得などにより堅調に推移し増収。
- ✓ 陶磁器は、国内の受注が堅調に推移し、また海外向けも増収。



産業マテリアル関連事業

売上高2,131百万円（前年同期比△5.5%）

- ✓ 抗菌剤は、原材料価格の高騰に伴う販売価格の改定等により出荷量が減少し減収。
- ✓ 調理器具向けガラストッププレートは、販売製品の品種構成の変化により減収。



その他事業

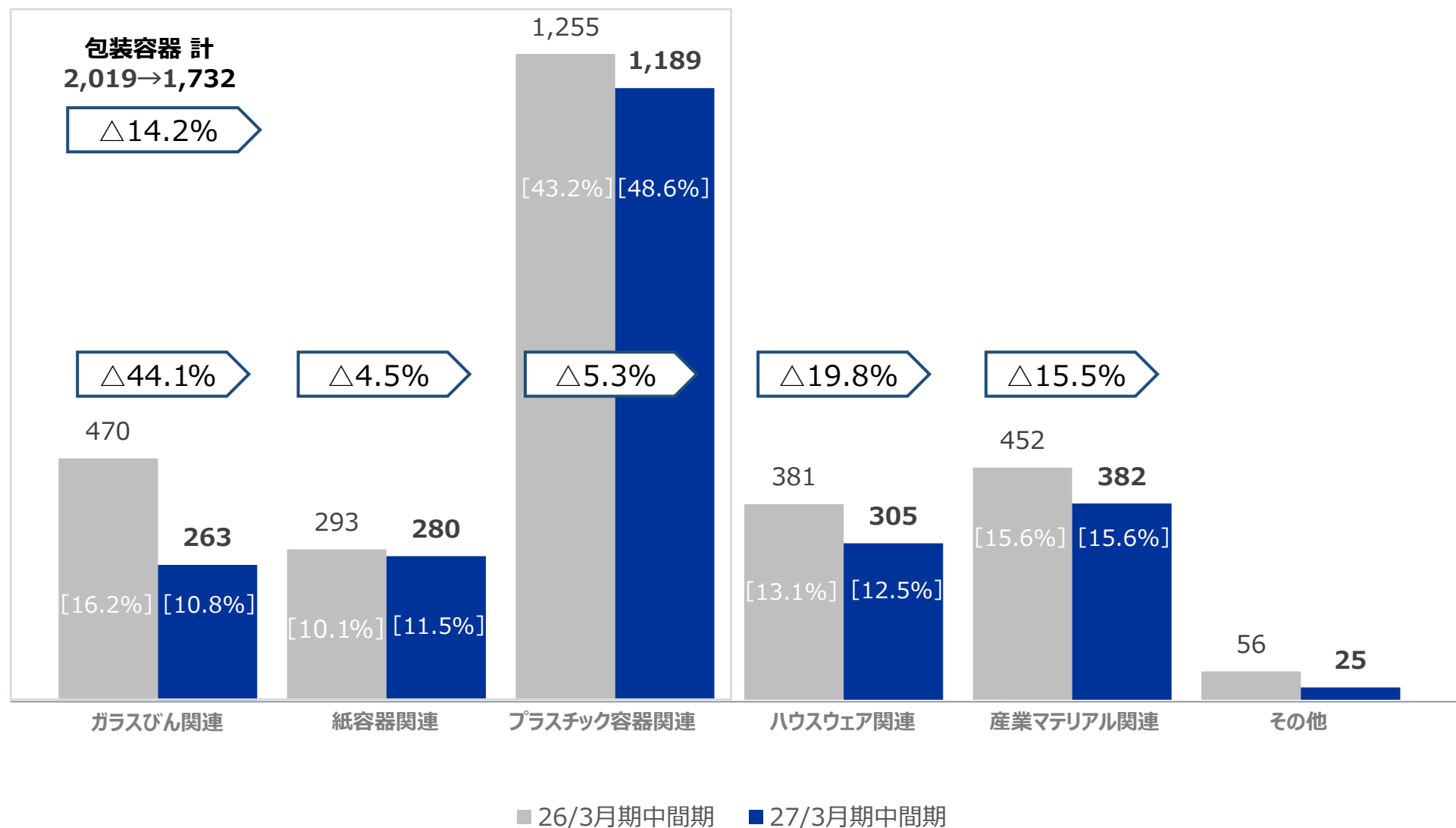
売上高2,893百万円（前年同期比+10.2%）

- ✓ パウチ飲料充填事業の出荷量が増加したことなどにより増収。



セグメント別営業利益

■ 営業利益（百万円） [連結営業利益に占める割合]



連結貸借対照表

連結貸借対照表の主な変動要因

(単位：百万円)

	2026/3月	2026/9月	増減額	増減率 (%)	主な増減要因
現金及び預金	2,973	4,313	1,340	45.1	
売上債権 ※	21,037	23,155	2,117	10.1	季節要因による運転資本の増加
商品及び製品	10,250	10,413	162	1.6	
その他	11,821	10,310	△1,511	△12.8	未収金の減少
流動資産合計	46,083	48,193	2,109	4.6	
有形固定資産合計	44,285	43,584	△701	△1.6	
その他資産合計	9,625	11,290	1,664	17.3	時価の上昇に伴う投資有価証券の増加
固定資産等合計	53,911	54,875	963	1.8	
資産合計	99,995	103,068	3,073	3.1	
支払手形及び買掛金	10,954	13,254	2,300	21.0	季節要因による運転資本の増加
借入金、社債、リース債務	26,934	25,763	△1,170	△4.3	
その他	22,814	21,715	△1,097	△4.8	
負債合計	60,702	60,734	31	0.1	
株主資本	27,392	29,031	1,639	6.0	
その他の包括利益累計額	10,383	11,692	1,308	12.6	その他有価評価差額金の増加
非支配株主持分	1,516	1,610	93	6.2	
純資産合計	39,292	42,333	3,041	7.7	自己資本比率39.5%（前期末比+1.7%）
負債及び純資産合計	99,995	103,068	3,073	3.1	

※ 受取手形、売掛金及び電子記録債権の合計

連結キャッシュ・フロー

連結キャッシュ・フローの主な変動要因 (単位：百万円)

	2025/9月	2026/9月	増減額	主な増減要因
税金等調整前中間純利益	2,585	2,798	212	
減価償却費	2,432	2,442	9	
運転資本の増減額（△は増加）※	△1,914	140	2,054	前年同期よりプラスチック容器新工場が本格稼働
法人税等の支払額	△495	△459	36	
その他	2,707	195	△2,512	主に未収金の減少
営業活動によるCF	5,315	5,116	△198	※ 売上債権の増減額、棚卸資産の増減及び仕入債務の増減額の合計
有形固定資産の取得による支出	△3,437	△2,615	822	前年同期はパウチ飲料充填事業の取得
解体撤去費用の支出	△278	－	278	
その他	96	445	349	固定資産（遊休地）の売却
投資活動によるCF	△3,619	△2,169	1,449	
短期借入の増減額（△は減少）	1,686	△16	△1,702	
長期借入・社債の発行による収入	700	50	△650	
長期借入の返済・社債の償還による支出	△4,051	△1,102	2,949	
セール・アンド・リースバック等による収入	906	820	△85	
リース債務の返済による支出	△405	△414	△8	
長期未払金の返済による支出	△903	△702	201	
その他	△272	△293	△20	
財務活動によるCF	△2,341	△1,657	684	
現金及び現金同等物	4,143	4,274	131	

説明内容

1. 2027年3月期中間期の業績説明

- 連結業績ハイライト
- セグメント別売上高、セグメント別営業利益
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フロー

2. 2027年3月期通期の業績予想

- 通期業績予想
- 通期業績予想の進捗
- 連結業績推移

3. トピックス

- 地域ブランド認定制度「なごみやげ」にアデリアレトロ製品が認定
- 岩倉市ジュニアアスリートを応援しています

通期業績予想

✓ 売上高62,000百万円、営業利益3,500百万円、当期純利益（※）2,150百万円の当初予想を据え置き

- 売上高は概ね計画通り進捗。
- 中東情勢を巡る地政学リスクの影響もあり、通期業績予想作成時に比べてL N G・電力のエネルギー価格の高止まりが見込まれますが、各事業において企業活動におけるコスト上昇に対するコスト低減施策と販売価格の見直しを進め、当初業績予想の達成を目指す。

（単位：百万円）

項目	2027/3月期 当初予想	2027/3月期 中間期予想	2026/3月期 実績	当初予想対比		前期比	
				増減	増減率	増減	増減率
売上高	62,000	62,000	59,510	－	－	2,489	4.2%
営業利益	3,500	3,500	4,160	－	－	△660	△15.9%
経常利益	3,200	3,200	3,882	－	－	△682	△17.6%
当期純利益 ※	2,150	2,150	2,618	－	－	△468	△17.9%
配当金	72円	72円	70円	－	－	2円	－

※ 親会社株主に帰属する当期純利益

10

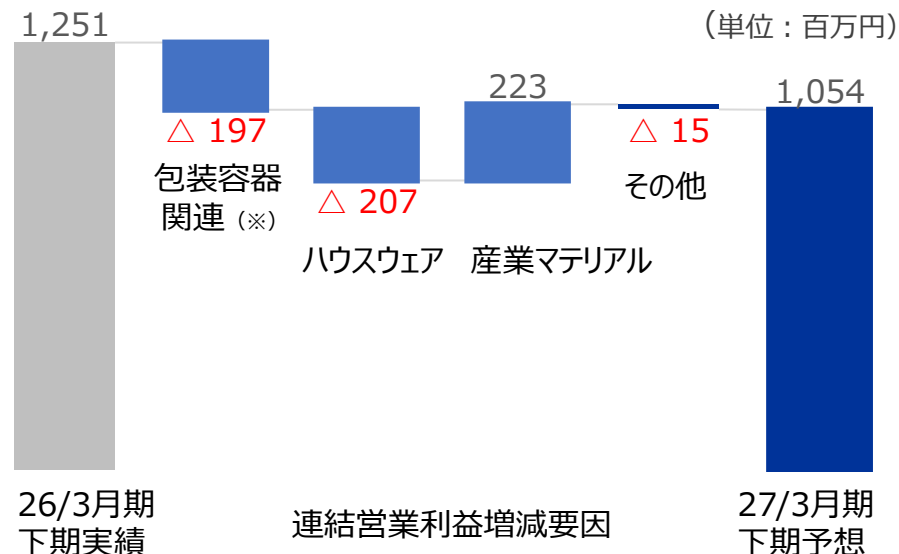
通期業績予想の進捗

▶ 全体の概況

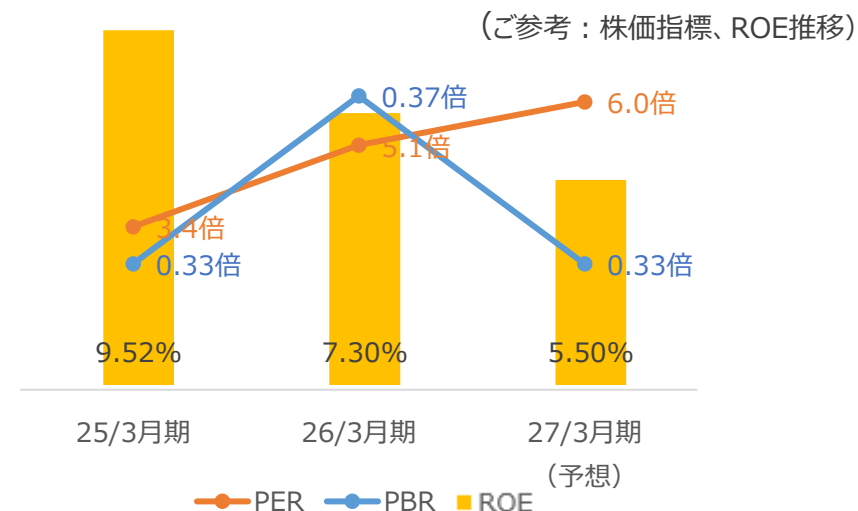
- 27/3月期上期の営業利益は2,446百万円、前期対比△463百万円。
- 27/3月期下期の営業利益予想は1,054百万円、前期対比△197百万円の見通し。

▶ セグメントの概況（前下期対比）

- 包装容器関連（※）は△197百万円、ハウスウェア関連△207百万円、それぞれ減益の見通し。
- 2026年春先からの中東情勢を巡る地政学リスクの影響により、27/3月期下期は26/3月期下期対比で、35%～40%程度のエネルギー価格上昇を見込む。
- 産業マテリアル関連は、抗菌剤の昨年末からの原料価格高騰に対する価格改定などにより、増益の見通し。



(※) ガラスびん関連、紙容器関連、プラスチック容器関連の合計値

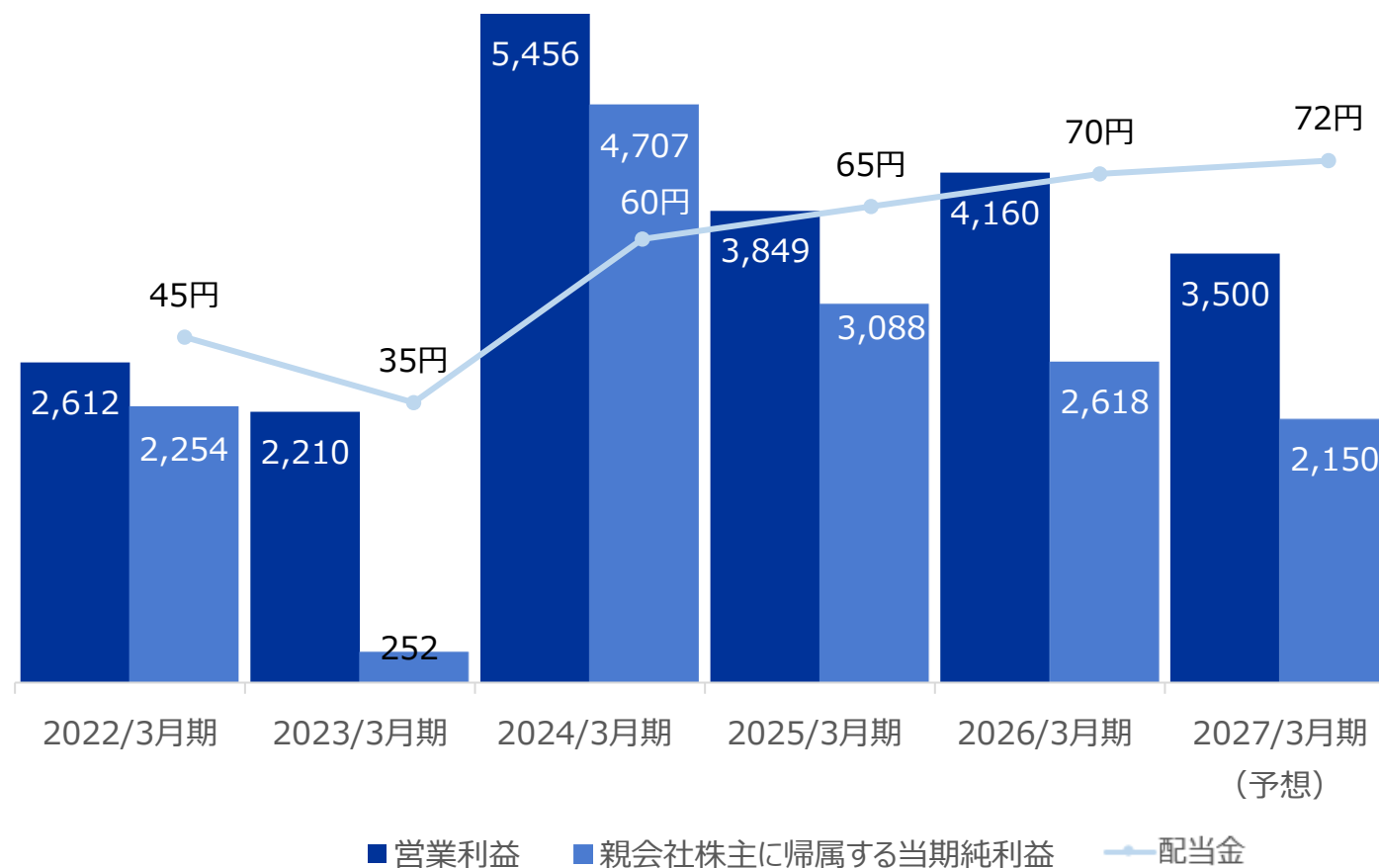


(注) PER及びPBRは、決算発表日又は決算日の株価終値に基づき試算。

連結業績推移

営業利益、親会社株主に帰属する当期純利益 並びに 1 株当たり配当金推移

(単位：百万円)



説明内容

1. 2027年3月期中間期の業績説明

- 連結業績ハイライト
- セグメント別売上高、セグメント別営業利益
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フロー

2. 2027年3月期通期の業績予想

- 通期業績予想
- 通期業績予想の進捗
- 連結業績推移

3. トピックス

- **地域ブランド認定制度「なごみやげ」にアデリアレトロ製品が認定**
- **岩倉市ジュニアアスリートを応援しています**

■ 地域ブランド認定制度「なごみやげ」にアデリアレトロ製品が認定

- 当社のアデリアレトロシリーズの台付グラス320アリスが、地域ブランド「なごみやげ」に認定されました。
- 「なごみやげ」は、当地の優れたモノづくり技術に裏打ちされた商品や、地域資源を活用した特徴ある商品の認定を通じて、愛知・名古屋の魅力を広く発信する新たな取り組みです。当地の良いものを再認識いただくとともに、当社製品の魅力を幅広く発信します。



▼「なごみやげ」公式サイト

<https://nagomiyage.nagoya-cci.or.jp>

▼当社認定品はこちらからご覧いただけます

https://nagomiyage.nagoya-cci.or.jp/certified/a6v_qqqqmd/

■ 岩倉市ジュニアアスリートを応援しています

- 当社は、岩倉市教育委員会が策定した「岩倉市における中学校部活動の地域連携・地域展開推進計画」の趣旨を踏まえ、本年4月1日よりゴールドパートナーとして協賛を行っています。
- 地域スポーツクラブ（岩倉スポーツクラブ）が行う小中学校のスポーツ活動において、その活動を支える地域指導者の確保支援を通じて、岩倉市の子どもたちを応援しています。



本資料についての留意事項

- 本資料は金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載されている将来の予測等は現時点で入手された情報に基づくものであり、市況、競業状況等、多くの不確実な要因による影響を受けます。
- 本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願いいたします。
- 本資料利用の結果生じた、いかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。